



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.17

令和4年5月31日

文責：校長 伊藤孝行

プールが満水、気温・水温の上昇待ちです。

先週から水を入れ始めたプールが満水となりました。しかし、水道水を入れているため、水温はまだ20度ほどで泳げる温度ではありません。

日和田小学校では、水泳学習を行う基準が定められ、気温と水温を合わせて45度以上～65度未満（熱中症防止）としています。気温が上がると水温も上がります。もう少しで、子どもたちが楽しみにしている水泳学習が始まります。

HSP（ハイパー・センシティブ・パーソン）ご存知ですか？

HSPと言う言葉を、時々聞くようになりました。もともとは心理学系で使われていた言葉でしたが、お笑いタレントのロンドンブーツの田村淳さんが、自分がHSPと公表したことで広く世間に知られるようになりました。



1996年にアメリカの心理学者エレン・N・アーロン博士が提唱したHSPとは、視覚や聴覚が極端に敏感だったり、周囲の人の気持ちを察し過ぎたりして、ストレスを感じやすいという特徴があります。

エレン・N・アーロン博士は、HSPは以下の4つの特徴が見られると言っています。

- ① 外部の刺激に敏感で影響を強く受けやすい
- ② 他人が見逃してしまうような小さなことにも気づく
- ③ 感情が豊かで、特に共感性が高い
- ④ 物事を深く丁寧に考える

その中でも、子どもに限定したものにHSC（Highly Sensitive Child）というものがあります。生まれつきとても敏感な感覚、感受性を持った子どもたちのことです。

光や音にとっても敏感で、周囲の人は気にならな

いのに「眩しくて眠れない」「うるさくて嫌だ」とか、服のタグが「ちくちくして嫌」という子どもも見られます。また、大きな災害や戦争のニュースを見て、自分がそうになったらどうしようと悩んでしまう子もいます。

子どもは一人一人違い同じ子どもはいません。

様々な感じ方をしている子どもがいるという理解があるだけでも、子どもの行動への理解につながると思います。

尚、<https://kanseikids.com> 感性キッズ®というサイトで詳しく調べることができます。

お子さんのことについては、担任、学校、学校カウンセラーまで気軽にご相談ください。

第35回サラリーマン川柳入選作！



第一生命保険は27日、第35回『第一生命サラリーマン川柳コンクール』の上位入賞作品を発表しました。

コロナ禍の時代を反映するものが多く、どうしても暗くなりがちですが、それでもクスッと笑えるユーモアを感じるところが川柳の良さです。

- 1位：「8時だよ!! 昔は集合 今閉店」
- 2位：「ウイルスも 上司の指示も 変異する」
- 3位：「にこやかに マスクの下で 『うっせえわ!』」
- 4位：「巣ごもりで MからLに 服反応」
- 5位：「マスク顔 確信持てず 見つめ合う」

1位に選ばれた「8時だよ!!」は、昭和時代の番組で、今は分かる人が少ないかもしれません。

明日は、郡山市教委の学校訪問があります。

明日は、3年に1度の郡山市教育委員会による学校訪問があります。その目的は、子どもたちの学習状況や先生方の指導、学校施設の状況及び安全点検等を行うためです。

そのため、一部時間割が変わり、下校時刻が早まり1・2年生は13時30分頃となり、3年生～6年生は14時10分頃となります。